

第112回 令和7年10月28日（火）

学校というところは不思議と時間の流れが季節によって違います。4月から夏休みまではとてもゆっくりなのですが、9月から12月までは祝日や行事が多いこともあって加速がついて早く感じます。さらに年が明けると1月から3月はあっという間です。

まずは下の3つの問題をやってみてください。

- ① バックとポシエットは合計で1100円である。バックはポシエットより1000円高い。ポシエットはいくらか？
- ② 100台の機械を5分間動かすと製品が100個できる。1000台の機械で1000個作るには何分かかるか？
- ③ 瓶の中にウィルスがいる。その数は毎日2倍になる。50日で瓶がいっぱいになるとすると、瓶の半分が満たされるまで何日かかるか？

これをすぐに解けた人、そしてさらに正解だった人（もともとこの問題を知っていた場合を除いて）もいると思います。さすがですね。本当に優秀です。

じっくり考えて解けた人、こちらは仕事でミスのないタイプ。「熟慮型」とも呼ばれます。ともすれば仕事が滞りがちなところやキャパオーバーになりがちなので要注意。プライオリティーをつける習慣をつけると良いかと思います。

すぐにできたけど①を100円、②を1分、③を25日と答えた人は「直感型」です。思い込みが強いのでミスに注意。何事もスピーディーですが、確認作業は怠らずに。

今日はどちらが良いという話ではありません。もちろんミスは少ないほうが良いですが、実はタイプ重視の現代では直感型が意外と上司に好まれたりします。

期限1週間の案件をミスなく6日で上司に提案するのと、80%の出来で、2日で提案するのだと上司によっては圧倒的に後者を好む場合があります。

企画書など、たとえミスがなくても上司には直したいポイントや強調したい事柄があったりします。これは部下にはわからないのであえて余白を残して上司に渡します。逆に上司が受け取った時には残り1日では自分の意見を書くことも、確認すらできないかもしれません。

これからは誤字脱字の確認はAIに任せることもできます。直感型の発想力は重宝されるかもしれません。（①～③の答えは自分で考えてみてください。）